

2015年8月31日

# 当院で小児ネフローゼ症候群の治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

---

課題名:小児発症ネフローゼ症候群における各種マーカーによる予後の予測

---

## ◆研究の目的と概要◆

小児ネフローゼ症候群では、同一の疾患であるにも関わらず個々の患者さんによって治療への反応がよく、短期間で治療が終了できる予後良好な症例から、治療への反応が悪く難渋する例まで様々です。そこで、発症後できるだけ早期に予後を予測することができないかどうか調べるのが本研究の目的になります。予後が予測されるようになると、将来的に個々の症例に対してより早期からよりの確な治療が行われることに貢献できると考えています。この調査の結果は学会で発表されたり、論文として発表されたりすることがあります。

本調査では、ネフローゼ症候群の初発時に当院で治療を受けられた患者さんの年齢や性別、各種検査結果や寛解の状態に至るまでの期間、また、再燃した場合には寛解後再燃するまでの期間などを調査するもので、「ヘルシンキ宣言」や「疫学研究に関する倫理指針」に従って実施されます。この調査は、過去のカルテの情報を調べて分析するものであり、この調査のために特別な検査や治療が行われるわけではありません。

## ◆対象となる患者さん◆

2004年1月から、2014年12月までの間に、小児発症のネフローゼ症候群であると診断された方。

## ◆研究に使用されるカルテ情報◆

性別、年齢、およびIgA、IgM、IgG、IgE、C3、C4、CH50、selectivity index、TP、蛋白分画、Alb およびT-Cho、アレルギーおよびアレルギー疾患の有無、寛解までの期間、寛解から再燃までの期間(再燃した症例の場合)、寛解後の尿蛋白(定量)の値、好酸球、尿中B2MG、尿中NAG、尿中Na、尿中K

---

- \* 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- \* この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- \* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 宮原 宏幸、綾 邦彦

TEL： 086-422-0210（代表）、 FAX： 086-421-3424（代表）

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究推進部）

（★を@に変換して使用してください）